



Yuuichirou
平成24年9月16日生まれ



わが家の宝1歳です!

ゆういちろう
菊地悠一郎ちゃん
お住まい 邑久町山田庄
ひとこと
本人、流行りの顔があって、何度も何度も同じ顔をするけれど、すぐに飽きるの。その時期にしか見られないのが残念。で、最近の流行りはこの顔らしい・・・
(父 友和さん 母 稔里香さん)

Tomoya
平成24年8月30日生まれ



ともや
平山智也ちゃん
お住まい 長船町土師
ひとこと
お姉ちゃんが大好きなともやくん
これから仲良くね♡
(父 俊朗さん 母 典子さん)

市民ギャラリー



大畑千寿子さん



山本敏子さん

投稿をお待ちしています

- 1歳のお子さんの写真
氏名、生年月日、家族(氏名、続柄:2人まで)からのひとことをご記入
- 短歌・俳句・詩
- イベント案内の告知や募集案内
- イラスト・絵手紙
- 瀬戸内市の風景などの写真
写真の題名、撮影場所、撮影日時、コメントなどを記入

★応募方法
住所・氏名・電話番号を明記し、はがき・FAX・電子メールなどでまちづくり推進課へ送付してください。匿名・ペンネームを希望する場合は、その旨もお書きください。

★留意点
原則として、投稿していただいた原稿や作品は返却していません。掲載の都合上、すべての原稿や作品を掲載できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

〒701-4292
瀬戸内市邑久町尾張300-1
☎0869-22-1031
FAX 0869-22-3304
mail:hiroba@city.setouchi.lg.jp



瀬戸内写真館



題名 しおまち唐琴通り
撮影場所 牛窓町牛窓
撮影日時 平成25年9月20日
撮影者 きまぐれカメラマンさん
コメント どこから撮ったか分かりますか?
写真中央は、しおまち唐琴通りです。

題名 秋の夕暮れ
撮影者 ISさん

文芸コーナー (敬称略)

築城の残石火照る島の秋
的場 松葉(牛窓町長浜)
休耕田あまた飛びかふ秋燕
原野信一郎(牛窓町牛窓)
今も立つ尊徳像や萩の庭
野口 慶子(牛窓町牛窓)
夕映えの空一面の鰯雲
後藤 靖子(牛窓町牛窓)
日の落ちて一筋の風涼新た
原野 孝子(牛窓町牛窓)
遷宮の伊勢路早くも稲稔る
平野 五香(牛窓町牛窓)
秋灯下娘のおさかりの古机
福本 曙生(牛窓町牛窓)
大いなる茅の輪の匂ひくぐりけり
藤井 留女(牛窓町牛窓)
秋の蝶つき添うような舞い姿
谷口 正子(牛窓町牛窓)
久々の雨の恵に野菜生々
堤 明子(長船町磯上)
それぞれと浮べど名前が出て来ない
爆笑で終える友との対話
竹内 和女(牛窓町牛窓)
老いて尚厨に立つを喜ばむ
今宵の料理男のメニュー
片島 秀月(長船町福岡)
力入れおろす大根辛味よし
秋刀魚も焼けて秋を味わう
片島智恵子(長船町福岡)
周平の若き恋歌しみじみと
語りみるも我に重ねて
上山 幸子(邑久町豊安)
秋彼岸姉妹揃って墓参り
稲田実りて曼珠沙華咲く
朝霧 好子(牛窓町鹿忍)
とりにて拭いかければおのつから
星の気をよぶ三尺の霜
赤田 桂舟(邑久町山田庄)

まちの話題

問 まちづくり推進課 ☎0869-22-1031

一日救急隊長として啓発活動

9月9日、「救急の日」「救急医療週間」の事業の一環として、社会福祉法人報恩会牛窓ルンビニ保育園保育士の石部香織さんが一日救急隊長を務めました。

石部さんは牛窓中学校で救急技術訓練を見学した後、牛窓ルンビニ保育園に移動し、クイズや紙芝居を交えながら、園児らに救急業務について説明しました。園児らは、救急車を見学し、消防本部職員から機器の名称や使い方の説明を受けました。石部さんは市内の商業店舗前でも、訪れた人に応急手当のパンフレットなどを配布して、啓発活動を行いました。



牛窓ルンビニ保育園の石部さん



商業店舗前で啓発活動をする石部さん(写真中央)(左上) / 紙芝居の読み聞かせ(右下)

し おまち唐琴通りが華やかに

八朔ひな飾りとししこまづくり



1930年ごろに作られたひなも展示されました(左下) / 供えられたししこま(右上)

牛窓町牛窓には、古くから娘の誕生を祝い健やかな成長を願うため、八朔(旧暦8月1日)にひなを飾りししこまを供える風習が残っています。9月7日から16日まで、この風習を味わい、体験する「八朔ひな飾りとししこまづくり」がしおまち唐琴通り一帯で開催されました。

訪れた人は民家や商店など39カ所に飾られたひななどを見て回りました。

ししこまは、米粉を練ってこれを蒸し、白でついて、山の幸・海の幸を形づくった団子にし、色粉で彩色したもので、市の無形民俗文化財にも指定されています。

自 分たちの町は自分たちで守る

市では、(財)自治総合センターが行う「コミュニティ助成事業」を活用し、軽可搬消防ポンプ一式と応急手当セット一式を購入しました。この事業は、宝くじの社会貢献広報事業の一環として「自分たちの町は自分たちで守る」という基本信念のもと、地域防火防災活動の向上を図ることを目的として、同センターからの助成により実施されるものです。

これらの備品は、10月6日に福永婦人消防隊に配備しました。同隊は、啓発活動などを積極的に行っており、地域の防災訓練などでも利用する予定です。



防火防災活動備品を整備



応急手当セット一式(左上) / 軽可搬消防ポンプ一式(右下)